



パブロ・ピカソ「人物」昭和2年(1927)



木田金次郎「新雪の羊蹄山」昭和16年(1941)

1926年に始まった元号「昭和」。
2025年は昭和100年の節目
の年です。「しりべしミュージアム
ロード」の作家たちは、まさに
「昭和」時代を生き抜いた人物た
ちぞろい。科学技術の進歩、戦
争、国家や社会の大きなうねり：
「平成」「令和」を経て、今現在を
形作る時の流れは、作家たちが生
み出す芸術にも大きな影響を与え
ました。64年にわたる「昭和」、
その時々で作家が過ごした時代の
様相に思いを馳せながら、「絵描
きたちの昭和」を巡る小旅行へ、
みなさまをご案内いたします。

しりべしミュージアム ロード共同展

絵描きたちの昭和



小川原脩「根津夕景」昭和8年(1933)



藤倉英幸「夕げのしたく」昭和59年(1984)



西村計雄「日本おどり」昭和31年(1956)

2025年 7月12日(土) ~
9月23日(火・祝)

岩内 荒井記念美術館「Picasso1926-1973」
ニセコ 有島記念館「藤倉英幸展—ノスタルジック—」
倶知安 小川原脩記念美術館「画家たちの旅 昭和45年」
岩内 木田金次郎美術館「昭和20年以前」
共和 西村計雄記念美術館「昭和26→30年」

主催／一般財団法人荒井記念美術館、有島記念館、小川原脩記念美術館、木田金次郎美術館、西村計雄記念美術館
後援／公益財団法人道銀文化財団、しりべしミュージアムロード推進協議会、後志学芸員連絡協議会

一般財団法人
荒井記念美術館



Picasso 1926-1973

日本の昭和年間は西暦 1926 年から 1989 年にあたります。第一次世界大戦の傷跡が残る中での不安定な情勢、その後の第二次世界大戦、そして冷戦。そのなかで新たな表現方法が生み出され、芸術が多様化し、科学技術の飛躍的な進歩など、この時代は世界的に激動の時代でした。本展示では、この時代のピカソ作品をご紹介します。

- 【所在地】〒045-0024 北海道岩内郡岩内町野東 505
 【TEL】0135-63-1111 【開館時間】9:00~17:00 (入場は16:30まで)
 【休館日】月曜日(祝日の場合は翌火曜日)
 ※臨時休館:7月22日(火)、8月5日(火)、8月19日(火)、9月16日(火)
 【入館料】一般 1,000(900)円/大高生 700(600)円/小中生 400(300)円
 ※()内は10名以上の団体割引、その他各種割引有り
 【交通】[バス] 中央バス岩内ターミナル下車タクシー 15分

同時開催

ピカソ版画常設展Ⅱ期
巨匠への挑戦

西村計雄常設展Ⅰ期
そびえる山、ふきぬける風 (8月3日まで)

西村計雄常設展Ⅱ期
西村が過ごしたパリ (8月6日から)



パブロ・ピカソ「人物」昭和2年(1927) エッチング

有島記念館



藤倉英幸展 —ノスタルジック—

当館では藤倉英幸のはり絵作品をご紹介します機会が多いですが、実はポスターや広告デザインなども数多く手掛けてきました。今回は藤倉が昭和に制作した作品を展示いたします。はり絵とは違う表現をお楽しみください。

- 【所在地】〒048-1531 北海道ニセコ町宇有島 57
 【TEL】0136-44-3245 【開館時間】9:00~17:00 (入場は16:30まで)
 【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)
 【観覧料】一般 500 円(400 円)
 小学生以下と 65 歳以上のニセコ町民は無料
 ※()は10名以上の団体料金、JAF 割引
 【交通】[JR] 函館本線ニセコ駅下車徒歩 30 分またはタクシー 5 分

同時開催

出会う、そして50年
荒野洋子×安藤小芳2人展
(7月27日まで)

夏から秋の藤倉英幸展 (8月2日から)



藤倉英幸「北海道の味覚 サケ 新聞広告原画」昭和59年(1984)

小川原脩記念美術館



画家たちの旅 昭和45年

昭和45年に開催された大阪万博が契機となり、さまざまな形の「旅行」が展開した1970年代。人々が盛んに往来するなか、北海道・後志の小さな町で、小川原脩はどこに視線を投げかけ、何を思って創作に向かっていたのでしょうか。また、旅を共通項として、ミュージアムロードの作家たちの作品を紹介します。

- 【所在地】〒044-0006 北海道虻田郡倶知安町北6条東7丁目1
 【TEL】0136-21-4141 【開館時間】9:00~17:00 (入館16:30まで)
 【休館日】火曜日 ※臨時休館:8月25日(月)~29日(金)
 【観覧料】一般 500 円(400 円)/高校生 300 円(200 円)/小中学生 100 円(50 円)
 ※()は10名以上の団体料金
 【交通】[JR] 函館本線倶知安駅下車徒歩 30 分またはタクシー 10 分

同時開催

小川原脩展「私の中の原風景」
(8月24日まで)

第67回 麓彩会展 (8月30日から)



小川原脩「旅のBALLADE」昭和45年(1970)

木田金次郎美術館



昭和 20 年以前

長い昭和の最初の 20 年は「戦前・戦時」にあたります。この時期も、後志では木田金次郎をはじめ各地で画家たちの活動が行われていました。当館では、木田金次郎・西村計雄・小川原脩の作品から、それぞれの「戦前・戦時」をたどり、各作家の画風の変遷と時代の息吹を感じていただきます。

【所在地】〒045-0003 岩内郡岩内町字万代 51-3

【TEL】0135-63-2221 【開館時間】10:00~18:00 (入館 17:30 まで)

【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)

【観覧料】一般 600(500)円/高校生以下無料

※()内は 10 名以上の団体料金・リピーター割引・JAF 割引

【交通】[バス] 中央バス岩内ターミナル下車徒歩 1 分

同時開催

特別展示

「木田金次郎と昭和の暮らし」



木田金次郎「新雪の羊蹄山」昭和 16 年(1941)

西村計雄記念美術館



昭和 26 → 30 年

西村計雄は戦後間もない昭和 26(1951)年、約 1 か月の船旅を経てフランスの地に降り立ちました。この渡仏をきっかけに、西村独自の画風が花開きます。当館は昭和 26 年から 30 年の 5 年間に焦点を当て、渡仏直後の西村作品や制作にまつわるエピソード、また同じ時代を生きた後志の画家たちの作品を合わせて紹介します。

【所在地】〒048-2202 岩内郡共和町南幌似 143-2

【TEL】0135-71-2525 【開館時間】9:00~17:00 (入館 16:30 まで)

【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)

【観覧料】一般 500(400)円/高校生 200(150)円/小中学生 100(80)円

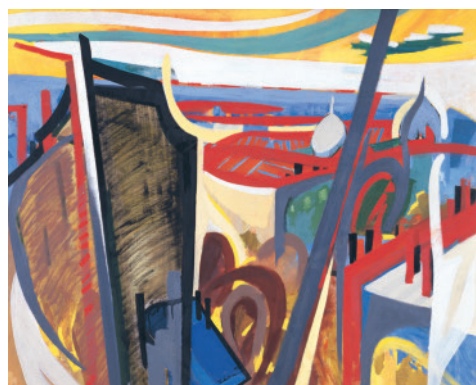
※()内は 10 名以上の団体料金、JAF 割引

【交通】[JR] 函館本線小沢駅下車バスまたはタクシー 10 分

同時開催

夏から秋の展覧会

「美しき、わが北海道!」



西村計雄「プラハ」昭和 26 年(1951)

期間中のイベント

有島記念館

7/20 荒野・安藤 2 人展トークショー(仮)

未定 本郷弦 朗読会「樺太と狩太」

(詳細については有島記念館公式 X をご覧ください)

小川原脩記念美術館

7/17 北海道みんなの日(無料開放)

7/25~8/31 夏休み小中高生観覧無料

木田金次郎美術館

7/13 第 31 回木田金次郎生誕祭 記念講演会

苦名直子氏(北海道立文学館副館長)

「『K』こと黒澤龍雄の位置—もうひとつの『生れ出づる悩み』」

8/6 夏休みワークショップ 講師:村田桃花氏(中学校教師)

9/19 秋のナイトオープン

西村計雄記念美術館

7/17 北海道みんなの日(無料開放)

7/19~8/11 夏休み!自由研究応援部隊
(かかし作り&工作コーナー登場)

7/19 トライアート「なが〜い絵に挑戦!」

8/10 トライアート「かかし作りに挑戦!」

9/20 トライアート「秋の味覚かきくらべに挑戦!」

しりべしミュージアムロード・コンサート 2025 「移ろう時代と音楽の旅」

出演/ピリカネージュ:高梨優希(トランペット)、永岡涼子(マリンバ)、小野寺百音(ヴァイオリン)

7/26(土)

11:00~11:40 小川原脩記念美術館(70席)

15:00~15:40 有島記念館(80席)

19:00~19:40 木田金次郎美術館(40席)

7/27(日)

11:00~11:40 一般財団法人荒井記念美術館(200席)

15:00~15:40 西村計雄記念美術館(40席)

主催/しりべしミュージアムロードコンサート実行委員会[各実施館・公益財団法人道銀文化財団] 後援/北海道銀行・北陸銀行

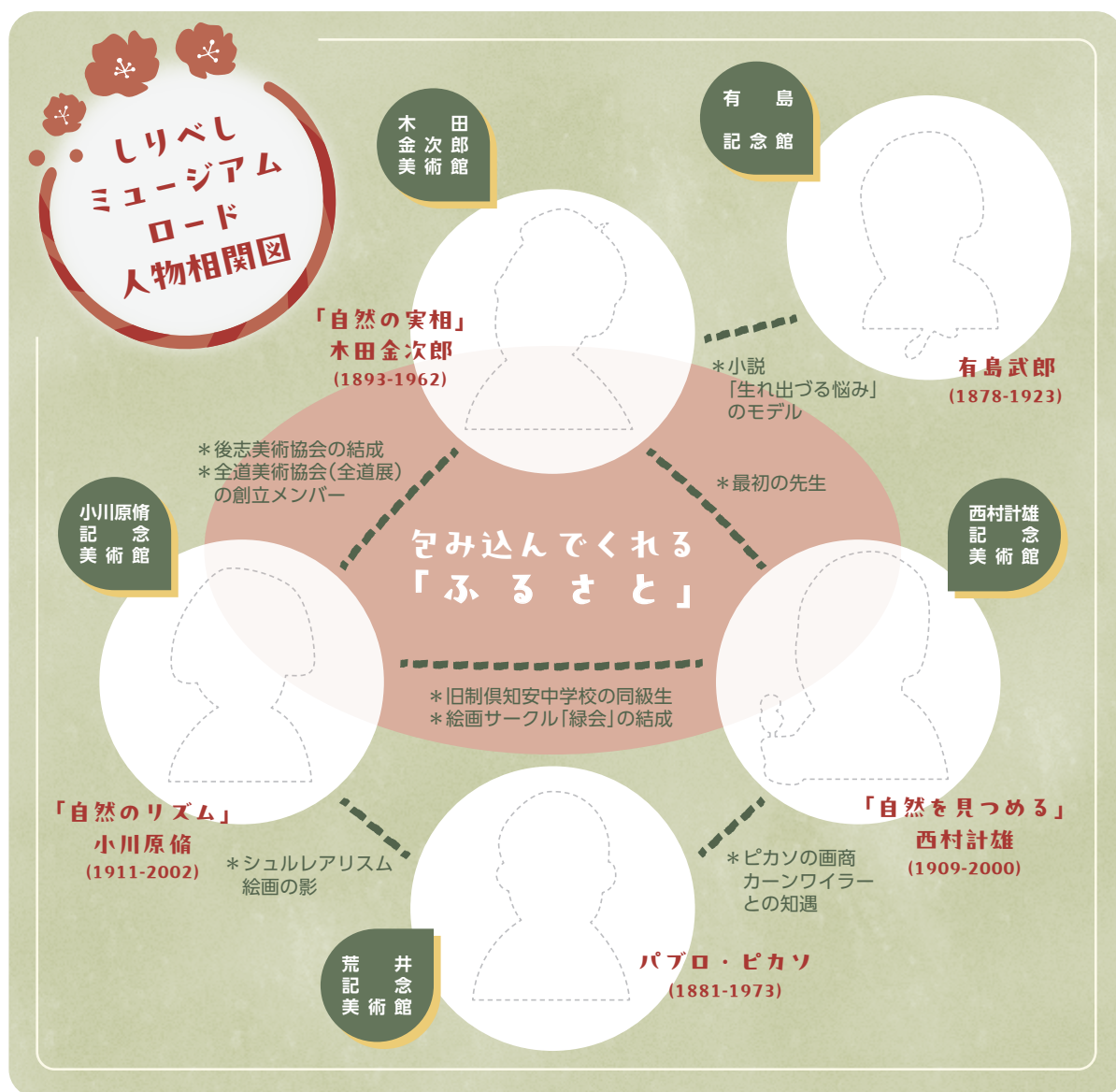
会期中の特典

入館料相互割引

期間中、受付で5館いずれかの入場半券をご提示いただくと、団体割引料金にてご入館いただけます。

スタンプラリー

共同展開催5館を巡り、特産品やオリジナルグッズをあてよう！ **5館制覇でもれなく「完走記念品」**をその場でプレゼント！ さらに**抽選で「5館グッズセット(10名様)」**を差し上げます。



しりべしミュージアムロードとは？

北海道後志管内の4町に点在する5つの美術館・文学館を結ぶ「しりべしミュージアムロード」。地域ゆかりの芸術家をテーマとした個性あふれる施設を、山から田園、海へといたる変化に富んだ景観とともに楽しむことができるドライブコースとして親しまれています。

加盟館：一般財団法人荒井記念美術館、有島記念館、小川原脩記念美術館、木田金次郎美術館、西村計雄記念美術館